

コンサルタントとしてどのような課題に取り組んできたのでしょうか

私は2000年の入社以来、ほぼ一貫して自動車業界に関わってきましたが、テーマは常に変化を続けています。私がコンサルティング業界に入った頃は、大手自動車メーカーの社長が外国人に代わるなど、業界を取り巻く競争環境や各社の成長戦略が変わり始めた時代でした。2005年頃からはグローバル化が進展し、東南アジアへの進出・現地化が本格化。私自身、タイやシンガポールに滞在し、長期のプロジェクトに参画したこともあります。

2008年あたりからは電気自動車ブームが起こり始め、エンジンやトランスミッションなどの内燃機関が電動化することで、自動車産業の構造が大きく変わると言われています。その頃から、今後、自動車メーカーとしてどのようなビジネスをやるべきか、という、より経営に近いアジェンダに関わるようになり、新規事業の立ち上げにも多数関わりました。

**現在、企業はどのような課題に直面しているのでしょうか**

グローバル化によって、地理的なフロンティアは今やほとんど残されていません。そこで、今後どの方向に進路を取るべきか、企業の意思決定はますます困難になってきまし

# テクノロジーが世界を変える時代

## コンサルタントが世に問うべき価値とは

テクノロジーは、あらゆる産業の構造を変えつつある。そしてグローバル化は、フロンティア市場を次々と覆っていく。これからどこに向かうべきか、世の多くの企業は次の一手に悩んでいるのが現状だ。企業の経営課題に向き合うコンサルタントは今、どのような価値貢献を求められているのか。デロイト トーマツ コンサルティングで、自動車業界を中心にコンサルティングに携わってきたパートナーの佐瀬真人氏に話を聞いた。

た。さらには、AIやIoT、ビッグデータなど、新たなテクノロジーの発展も後押しとなり、これからすべての産業において産業・業界構造は大きく変わっていきます。まったく新しい手法で、付加価値を生み出さなければならぬチャレンジが始まっているのです。**激変の時代において、コンサルタントにはどのような価値が求められているのですか**

産業・業界構造の変化に伴い、コンサルタントの役割にも変化が生じています。従来のコンサルタントは、事業の道筋を示すアドバイザーが主な役割でしたが、どのような事業を行うべきか、という提言に留まらず、ビジネスパートナー、として施策の実現まで踏み込む実行力が重要視されるようになってきました。

そのため、現在のコンサルタントは、おそ

らく皆さんが想像する以上に専門的な領域に踏み込める仕事だと言えます。例えばデロイト・トーマツ コンサルティングのコンサルタントは政府の委員として自動運転の制度策定に従事したり、NVIDIA（アメリカの半導体メーカー）の次を担うベンチャー企業をシリコンバレーやイスラエルで探索する等も行っていきます。

### コンサルタントとして働く魅力は何でしょうか

より若いうちから経営・事業目線身につけられる、という点に尽きます。特定の製品の開発に携わる期間が長いメーカーに比べて、コンサルタントは短期間のうちに凝縮した経験を積めます。また、新しい成長戦略を打ち出す際、メーカーではどうしても自社目線になってしまふことが多いのですが、第三者目線で広く可能性を検討できるのはコンサルタント独自の魅力です。視座の高さを身につけられるでしょう。

### 理系とコンサルティングの親和性について教えてください

コンサルタントは、専門的な技術を持つ企業に対して、新規事業の企画立案も行います。そのため、現在のコンサルタントは、企業のコア技術に対する理解が欠かせません。また、時には私たちコンサルタントが先端分野の研究者にインタビューを行い、技術の先読みを

#### Profile

#### 佐瀬真人 (させ・まさと)

デロイト トーマツ コンサルティング合同会社  
執行役員  
慶應義塾大学 環境情報学部 卒

大学では映像や広告などメディア関連について学び、広告業界を志すが、経営に関心を抱くようになりコンサルティング業界を志望。現在は、製造業を中心に事業戦略立案、マーケティング戦略立案、技術戦略立案、組織・プロセス設計に関するコンサルティングに従事している。特に自動車業界においては自動車メーカー、自動車部品サプライヤー、販社・ディーラーの領域をカバーする経験を持つ。著書に『次世代自動車ビジネス早わかり』（共著：中経出版）、『モビリティ革命2030』（共著：日経BP）等がある。



行うこともあります。そのため、技術的なバックグラウンドを持った理系人材には大きなアドバンテージがあると考えます。

タイプとしては、特定の技術を極めたいというよりも、人と関わり、技術をよりレベルアップしたいという方がコンサルタントには向いています。専門的な知見を持ちながら、社会で何を成すかという、ビッグピクチャーを常に描き続けて欲しいですね。

### 理系学生にメッセージをお願いします

今、皆さんがフォーカスしている分野は、必ず将来どこかで生きてきます。一つのこと集中できる時期には、それを極めること。その経験を積んだ方は、他の分野に行ってもまた極めることができるはずです。一方、自分の研究分野を活かして何を成し遂げたいのか、具体的なアスピレーションを持ってください。コンサルタントに実行力が求められる時代においては、一人ひとりのコンサルタントが世に問いたい価値を持っていることが大切です。

2045年には人工知能が人間の頭脳を超えるシンギュラリティが起こると言われているように、この先のキャリアは、今とはまったく違うものになることでしょう。未来の世界は分からないのですから、将来自分がどういうビジネスパーソンになりたいかという観点から、ファーストキャリアとなる会社を選んでください。